

◇お知らせ◇

## 令和6年度 膵臓病研究奨励賞受賞者決定

公益財団法人 日本膵臓病研究財団

令和6年度膵臓病研究奨励賞の受賞者は、下記の9名の研究者に決まりました。

### 記

1. 仲程 純(がん・感染症センター都立駒込病院)  
研究課題:膵癌発生の早期段階における腺房萎縮の機序解明と臨床への応用
2. 多代 尚広(藤田医科大学ばんだね病院消化器外科)  
研究課題:13C 脂肪消化吸収呼気試験を用いた膵体尾部切除術後の膵外分泌機能低下、内分泌機能低下の危険因子の検討
3. 河口 義邦(東京大学大学院医学系研究科 臓器病態外科学 肝・胆・膵外科)  
研究課題:膵癌に対する集学的治療における短期成績・予後改善に向けた包括的戦略の策定:術前リハビリテーション、栄養介入、健康関連生活の質(Quality of Life)評価によるアプローチ
4. 木村 公一(大阪大学大学院医学系研究科がんゲノム情報学)  
研究課題:日本人における新規膵癌感受性遺伝子 FAT1 および FAT4 の変異体の機能解析
5. 田中 晴祥(名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科)  
研究課題:FUT2/3 遺伝子型判定による膵癌治療効果判定の個別最適化と高精度予後予測モデルの開発と検証 (GEMINI-PC)
6. 佐野 貴紀(東北大学病院消化器内科)  
研究課題:大規模データベースを用いた糖尿病患者膵癌リスク予測システムの開発
7. 梅澤 玲(東北大学大学院医学系研究科放射線腫瘍学分野)  
研究課題:膵癌に対する予防域を含めた定位放射線治療の有効性と安全性をみる第 II 相試験
8. 鈴木 謙介(千葉大学医学部附属病院臓器制御外科)  
研究課題:LIN28B による膵神経内分泌癌(PanNEC)発癌機構の解明
9. 宮崎 貴寛(筑波大学医学医療系臨床医学域消化器外科)  
研究課題:空間トランスクリプトーム解析による多様性を持つ膵癌 Cancer associated-fibroblast の機能の解明

以上